

平成 23 年 (2011 年) 10 月 28 日発行

淡海エコフオスター通信

～美しいまちづくりを目指して～

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

エコフオスター紹介〈大津管内〉

鳩の会 (におのかい)

活動場所 県道仰木堅田線 (レークピア信号～東へ 700m) および周辺道路

10月19日に大津市仰木の里の「鳩の会」を訪れました。

「鳩の会」は、平成11年10月に結成され、淡海エコフオスター制度ができた平成12年に知事と合意書を取り交わしており、制度設立当初からのボランティア団体です。

当初は、メンバーである岳川義則さんが、一人で8年間ごみ拾いをしておられましたが、地域の老人クラブ活動の一環として取り組もうということで、エコフオスターに加入されました。



「鳩の会」の名称は、初代会長さんが命名されたそうで、手の届く範囲で奉仕しようという気持ちと仲むつまじくという思いを、小さくとも仲の良い、琵琶湖の代表的な鳥である、かいつぶり (鳩) にイメージされたそうです。

現在の構成員は39人で、毎週水曜日の8時30分 (10月からは9時) から約1時間清掃活動を実施しておられます。

ごみは、車からのポイ捨てが多く、煙草の吸い殻や菓子袋が見受けられました。

現在の会長である山之内 勇さんは、「長く続けるのは、仲がよいから。活動を続けることで、安否確認もできる。」とおっしゃいます。

活動後は、缶コーヒーを飲みながら歓談しておられ、皆さん、毎週水曜日が楽しみだといっておられます。



メンバーの一人は、「道路やガスが整備された隣接する団地に住みたいと思い、申し込んでいたが、バブル期であり、競争率が20～30倍で抽選に何回も外れた。競争のないこちらに住んだが、今は、こちらで良かったと思っている。こんなに仲の良い人たちに出会えたから。」

文明は進化していますが、人間関係の希薄な現代社会にあって、何よりも大事なものは地域のコミュニティだということですね。

最高齢の女性は85歳ですが、皆さん元気に活動しておられます。本当に心温まる皆様にお会いできました。

これからも、お元気でご活躍ください。

(琵琶湖環境部循環社会推進課)

エコフオスター紹介〈東近江管内〉

藤野商事株式会社

活動場所 県道栗見八日市線 (築瀬交差点～築瀬バス停、築瀬北交差点～近江鉄道踏切)

藤野商事株式会社は、『地球から“ありがとう”がもらえるような会社』づくりを初心に、平成19年3月からエコフオスター活動をされています。



活動当初は、清掃に抵抗感を持つ社員もおられ

たそうですが、4年間の継続が今では社員のつながりに大きな役目を果たし、遠方営業所の社員も快く活動に参加されているそうです。そして現在では、協定締結の活動範囲以外にも社員自ら活動を広げ、大同川歩道のごみ拾い、河川の掃除、道路緑地帯の草刈りなども行い、地域の環境美化に熱心に取り組まれておられます。

また清掃活動を行っている時、通行人より「ご苦労様、おはようございます」とさわやかな声を頂くことがあり、今後への大きな励みになるということです。毎回活動後には、エコフオスター活動の内容などを記事にした、エコロジ通信「ありがとう」を作成し全社員に配布され、好評を得ているそうです。



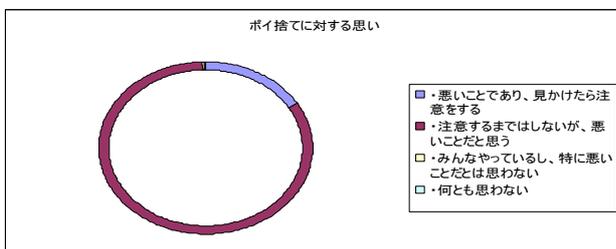
取材の最後には、「こういった活動は『売り手よし 買い手によし、世間によし』という『三方よし』の社内精神にも一役買っており、今後も全社員が力を合わせて続けていきたい」と力強く語って頂きました。

(東近江環境・総合事務所環境課)

平成23年度上半期 ポイ捨てアンケート

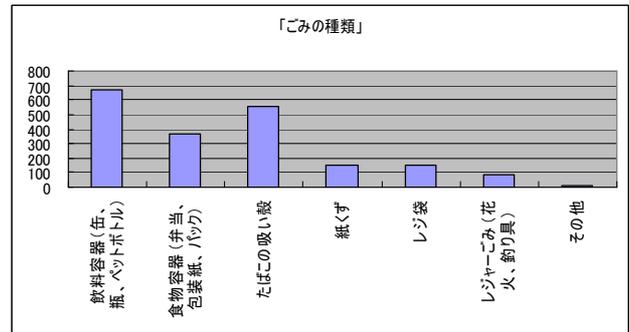
滋賀県では、散在性ごみ対策の一環として、県民の意識の変化を長期的に把握し、今後の対策の参考とするため、また、監視員が直接、県民と話すことで、啓発の機会とするため、アンケート調査を実施しています。今年6月から9月に実施しました調査結果は以下のとおりでした。

・年齢層は、各層が均一化できるように心がけています。ポイ捨てに対しては、悪いことと意識する人が90%で、何とも思わないと答えた人

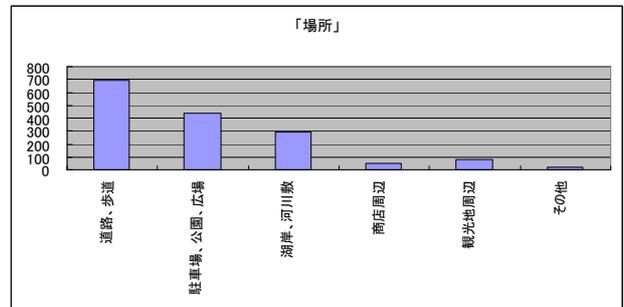


は10%でした。

- ・ごみの量は、以前と比べて、少なくなったという回答が46%でした。
- ・ごみの種類は飲料容器、たばこの吸い殻が60%を占めています。



- ・飲料容器については、ほとんどの人がコンビニ、自販機で購入しており、廃棄される場所は、道路、駐車場、公園、湖岸でした。



- ・クリーン条例の罰則規定を知っている人は14.7%にとどまっています。
 - ・ポイ捨てに対する活動へ参加したことがある人は、23.4%でした。
 - ・長期的推移は、下半期のアンケート実施後に掲載いたします。
- ※もし、ポイ捨てをしている人がいたら、注意してあげてください。この結果からすると、ほとんどの人が理解してくれるはずです。

平成23年4月以降の合意団体

- ・今津西小学校 (高島市)
国道303号 (高島市今津町保坂地先)
- ・株式会社 山協 (草津市)
県道大津守山近江八幡線 (草津市木川町地先)
- ・昭和電工株式会社彦根事業所 (彦根市)
県道神郷彦根線ほか周辺道路 (彦根市南川瀬地先)
- ・有限会社 フットワーク (草津市)
県道大津能登川長浜線 (草津市岡本町、青地町地先)
- ・有限会社 マツヤマ (東近江市)
県道五個荘八日市線 (東近江市妙法寺町地先)
- ・ヤンマー(株)永原工場 (長浜市)
八田部川、県道303号線 (長浜市西浅井町庄地先)

発行 滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
電話 077-528-3471 FAX 077-528-4845
eメール df00@pref.shiga.lg.jp

平成 23 年 (2011 年) 11 月 22 日発行

淡海エコフオスター通信

～美しいまちづくりを目指して～

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

エコフオスター紹介〈高島管内〉

奥琵琶湖マキノプリンスホテル

活動場所：琵琶湖岸

マキノサニービーチ

奥琵琶湖マキノプリンスホテルでは、ホテル前の琵琶湖岸で清掃、草むしり、漂着物の回収をされています。



取材当日の参加者は6名でした。大雨や強風の後には多くの漂着物が浜に打ち上がるため、多いときには半月から週に1度活動をおこなってられます。特に、琵琶湖からの風が強いと、一気にごみの量が増えるそうです。

ごみの種類は、夏場は6~7割がヨシで、その他はカン・ペットボトル・洗剤の容器などがあり、一度でリアカー3杯分くらいのごみを回収されます。

大きな流木やごみが波打ち際で漂っていたり、桟橋に引っかかっていたりすると回収が大変だそうです。ごみはどんどん流れ着くので、活動を止めたら終わりだと話されていました。



そんな中、通行人やお客様が「ご苦労様」「ありがとう」と声を掛けてくれると嬉しく、環境省の「快水浴場百選」にも選ばれている水浴場なので、綺麗な状態を保ちたいということでした。

また、琵琶湖から流れ着いたごみの回収費を安くしたり、無料にできないかという意見もいただきました。

(高島環境・総合事務所環境課)

エコフオスター紹介〈南部管内〉

桜プロジェクト「われら活動隊」

活動場所：平野草津線

松下中央交差点付近

草津市桜ヶ丘町の桜プロジェクト「われら活動隊」は、「いつまでも活気あふれる美しい街・エコタウン」をめざして、平成15年6月に熟年パワーを中心に発足し、「みんな元気で・楽しく・にぎやかに」をスローガンに活動されています。



桜プロジェクト内には3つのチームがあり、「環境チーム」は町内および周辺環境美化・保全活動や家庭版環境ISOの推進などを、「助け合いチーム」は支え合い活動としてパソコン相談や電球・蛍光灯の取換などを、「健康チーム」は町内安全チェックウォーキングや廃てんぷら油回収など、それぞれユニークな取組をされています。「環境チーム」の毎月第3土曜日の町内および周辺地区の環境美化・保全活動は平成15年のスタートから90回目を数えます。

そして、環境美化活動の一環としてのエコフオスター活動は平成17年4月に登録され、春と秋には「環境クリーンウォーキング」として、立命館大学とも連携し、県道平野草津線など町内周辺道路約4kmの清掃活動を20~25名で実施されています。

ごみの量は活動を始めた当初と比べると1/4に減少したそうですが、狼川土手への投棄ごみが多いこともあり、毎回、大袋で10袋余りになるとの

ことです。これまでの活動経験から、雑草が伸びてくるとポイ捨てごみが増加する傾向があるとおっしゃっていました。

発足から9年目になりますが、「継続は力なり」「一人の百歩より百人の一步」をモットーに取り組まれ、みんなでやろうという意識が育っていることもあり、ますます活動が盛んになっているとのことです。

この活動を通じて、みんなの環境意識の向上につながるとともに、近隣企業や大学とのコミュニケーションが図れるのが良いとおっしゃっていました。



「草津市桜ヶ丘町内会」のHPもつくられていますので、ご覧下さい。

福井県越前町から視察研修に こられました

10月25日(火)に福井県越前町の環境美化推進員17名と町職員1名が、滋賀県に来られました。



越前町では、地域ごとに環境のリーダーとなる環境美化推進員を委嘱しており、研修の一環として、「淡海エコフオスター制度」を学び、今後の環境行政のあり方を研究することを目的に当県にこられました。

エコフオスター団体が活動している場所を見た

いとの要望で、瀬田川リバプレ隊を紹介させていただきました。

当日、瀬田川リバプレ隊は、高橋川土手の刈った草を処分しておられ、越前町の皆様も付近道路のごみ清掃を手伝っていただきました。

その後、意見交流を行いました。リバプレ隊の方々にお茶を準備してもらったり、理事の朝田さんは、手作りのペンスタンドをお土産に作ってくださったりで、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

「環境美化の日」一斉清掃を実施します

12月1日は、「環境美化の日」です。今年の「環境美化の日」環境美化活動は、11月20日(日)から12月4日(日)までの期間を中心に、県主催7事業、市町・団体主催47事業が予定されています。この清掃活動は昭和47年から開始され、毎年約10万人近い方にご参加いただいています。積極的なご参加をお待ちしております。

実施区域	実施日時	集合場所
大津地区	12月1日 (木) 9:30~11:30	なぎさ公園、柳が崎・鏡浜、雄琴港 (大津市)
南部地区	12月1日 (木) 9:30~11:00	草津市志那町湖岸緑地志那1駐車場 (草津市)
甲賀地区	11月28日 (月) 9:30~11:00	野洲川親水公園第1駐車場 (湖南市)
東近江地区	12月1日 (木) 9:30~11:00	近江八幡市安土大中グラウンド (近江八幡市)
湖東地区	12月3日 (土) 9:00~11:00	彦根市文化プラザ (彦根市)
湖北地区	12月1日 (木) 9:00~11:00	湖北総合庁舎駐車場 (長浜市)
高島地区	11月29日 (火) 9:30~11:00	今津南浜 (高島市)

詳細については、下記アドレスをご覧ください。
<http://www.pref.shiga.jp/hodo/e-shinbun/df00/20111201.html>

(循環社会推進課)

発行 滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
電話 077-528-3471 FAX 077-528-4845
eメール df00@pref.shiga.lg.jp

平成 23 年(2011 年)12 月 20 日発行

淡海エコフオスター通信

~美しいまちづくりを目指して~

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

エコフオスター紹介 湖北管内

古川工業株式会社

活動場所 県道東野虎姫線（浅井文化ホール前から
内保東交差点まで約 700メートル）

古川工業株式会社は長浜市内保町に所在し、土木
工事・建築工事等総合特定建設業、建築設計事務所
を経営されています。

清掃活動については、淡海エコフオスター活動の
協定を締結される前から、お世話になっている地元
へのご恩返しというおもいで、清掃活動を行ってこ
られましたが、この制度の紹介をうけて平成 17 年
9 月に淡海エコフオスター活動の協定を締結いた
だきました。



エコフオスター活動は毎月、月初めの朝礼で人数
が多く揃う日に決めて、朝 7 時 50 分から会社近く
の県道東野虎姫線の清掃活動をされています。

また、毎月の淡海エコフオスター活動の他にも、
地域の清掃活動や、びわ湖の日の清掃活動にも、毎
年参加いただいているとのこと。訪問した当日
(11月2日)は、14名の方が本社前の県道を二
手に分かれて清掃されていました。

落ちているごみの種類は、場所が交通量の多い道

路ということもあって、たばこの吸い殻、缶、コン
ビニエンスストアの袋に入ったごみなどだそうです。
それでも、清掃活動の効果もありごみの量は以
前に比べると減ってきているとのことでした。



活動を行う上での苦労は、建設業という仕事柄、
仕事は朝が早く、また大きな仕事を抱えているとき
は、建設現場で朝礼を行う事も多いので、社員全員
が本会社に揃うのが難しいとのことでしたが、そのよ
うな中でも継続して活動に取り組んでいただいでい
ます。

古川工業株式会社の皆様の引き続きの活動を期待
しております。

(湖北環境・総合事務所 環境課)

エコフオスター紹介 東近江管内

水車の会

活動場所 県道土山蒲生近江八幡線（岩倉交差点か
ら南へ 500メートル）

県道近江八幡竜王線（岩倉交差点から南
へ 400メートル）

水車の会が活動をされている近江八幡市馬淵町岩
倉は、「ふるさと滋賀の風景を守り育てる条例」に基
づき近隣景観形成協定を結ばれ、「清流と石工のふる
さとづくり」をスローガンに歴史と伝統を守る住み
よいまちづくりを目指されています。町内を流れる
御沢川には水車が設置され、会の名前はここから由
来しています。

定例活動は月 2 回、第 2 金曜日は資源ごみの回収

と分別、最終日曜日はエコフォスター活動である県道沿いのごみ拾いや草刈りといった清掃活動に取り組んでおられます。

活動区域は、かなり交通量が多く歩道も無いため事故に巻き込まれないように注意しながら行っておられるとのことですが、活動の成果もあり、季節変動はあるもののポイ捨てごみの量は以前より減少してきたようです。



エコフォスター活動以外にもふれあい町づくり事業の一環として、アルミ缶回収や、「さわやか環境啓発活動」といった環境美化に関する学習会やごみの分別やしし方に関するチラシの配布、「4世代ふれあいサロン」の開催や独居老人や老人世帯の訪問・声かけなど行っておられます。



他にも、廃材の塩ビ管でつくった輪太鼓演奏の「十三楽棒」を結成、地域のイベントに参加するなど、活発に活動をされています。

現在18名で活動をされていますが、後継者づくりがままならず会員の高齢化や作業参加者が少なく

なった事が悩みの種だそうです。

しかし、エコフォスター制度に参加したことにより、会員同士が顔を合わせることも多くなり、自然と意思疎通も図れ、何事も意気投合できる仲間となったそうです。

取材の最後には『住民の皆さまから「ご苦労様」ありがとうございます』と声をかけていただき、その笑顔が活力を生み、おもわず喜びが生まれてきます。これからも私たちがなりに地域に恩返しを続けていきたいです』と力強く話していただきました。

(東近江環境・総合事務所 環境課)

12月1日「環境美化の日」活動結果

12月1日は、滋賀県ごみの散乱防止に関する条例(平成4年制定)に定める「環境美化の日」です。

年末の恒例行事となったこの日を基準日に、県下6地域で県民、企業、県が一体となった清掃活動を実施しました。

寒い日にもかかわらず、多くの方々にご参加いただきましたことを心から御礼申し上げます。

平成23年度「環境美化の日」

県下一斉清掃実施結果

地域	参加者数 (人)	回収したごみの 量(kg)
大津地域	444	1,747
南部地域	46	395
甲賀地域(11/28)	125	190
東近江地域	158	330
湖北地域	65	470
高島地域(11/28)	89	203
合計	927	3,335

湖東地域(12/3)は、雨天のため中止



発行：滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

077-528-3471 FAX 077-528-4845

eメール df00@pref.shiga.lg.jp

平成 24 年 (2012 年) 1 月 10 日発行

淡海エコフオスター通信

～美しいまちづくりを目指して～

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

新年あけましておめでとうございます

旧年中は滋賀の環境美化にご尽力いただき
誠にありがとうございました
本年もよろしくお祈りします



エコフオスター紹介〈湖東管内〉

ボランティアグループくるみ久留美

活動場所 県道新海上稲葉線および県道柳川能
登川線 (合計 8 キロメートル)

彦根市本庄町の「ボランティアグループ久留美」を訪問しました。さっそく午前 8 時役割分担を決め 16 名で清掃開始。この日の清掃範囲は本庄地区農地周辺の道路沿い (約 5～6 Km) の清掃であり、拾うごみはその殆どが自動車からのポイ捨てごみ。道路・川・用水路・水田・畑に散乱したごみの収集作業です。2 時間をかけ皆さん楽しそうに清掃された結果、大袋 17 (内・空き缶 3 袋) が収集されました。



清掃の後、田口良爾会長 (69 才) にお話を伺いました。この会は平成 15 年 10 月に結成され、現在会員 24 名 (42 才～74 才)。グループを結成されるきっかけは、前会長がかねてから自立できるボランティアグループが必要だと考えられ、結成されたそうです。

グループの名前は、町内の久留美神社から流れる清らかな川をイメージして名付けられたそうです。



平成 16 年から統一ユニホームを着用し、毎月一度は必ず清掃する。清掃時間は 2～3 時間で、本庄町周辺と愛知川の土手沿いを交互に行う。ごみの量は、以前軽トラック 3～4 台だったのが、今では 1 台で済んでいる。苦勞話として、愛知川土手下の藪の中で木竹が絡んでいる所に、家具を積んだりヤカーが不法投棄されており、これの搬出に 10 人掛かりで軽トラックで引っ張り上げたこと。また、偶然不法投棄している人の現場を見つけ、その行為者に対して、清掃作業中の皆さんがきついお灸をすえたこと。その他とんでもないごみとしては、風呂を砕いた瓦礫や解体後の鹿の死骸等が不法投棄されていたことです。

会長さんの願いとして、「若い人にボランティア団体に多く入って欲しい。また、近い将来、新しい人が代表となって末長くこの清掃活動を続けて欲しい。」と、やさしい笑顔で語っていただいたのが印象的でした。

(湖東環境・総合事務所 環境課)

エコフオスター紹介〈甲賀管内〉

住友電工ウインテック株式会社

活動場所 国道 422 号

(信楽事業所前から東へ 500m)

住友電工ウインテック (株) は、平成 15 年から毎月 1 回第 1 火曜日の午前 10 時から 30 分～1 時間にわたり清掃活動をされています。

活動場所は、甲賀市信楽町江田の国道 422 号線沿

いの会社第1駐車場から、東方向にある県道信楽上野交差点付近までの道路脇で、毎回12～13名が参加されているそうです。

今回の取材日は、15名の参加で、活動前には事務局の方から、「ご安全に！」という合い言葉が参加者全員にかけられ、当日のごみ回収の方法を説明するとともに、交通安全にも十分注意するよう呼び掛けられました。



活動当初は、ベニヤ板や段ボール等大きなごみがあったようですが、長年の活動の成果か、最近では、小さなごみがほとんどで、活動当初の1/3から1/5程度にごみの量が減ってきているとのことでした。しかしながら、国道沿いのためか、タバコの吸い殻は、相変わらず多いとのことでした。

また、毎月の活動状況は、工場内の掲示板に写真入りで紹介されており、約300名の社員の方々への日常的な啓発にも努められているようでした。



最後に、事務局の三枝さんからは、「今後も、地道に末永く活動を続けていきたい」との、力強いお言葉をいただきました。

(甲賀環境・総合事務所 環境課)

環境美化の日実績報告

昨年末の12月1日を基準日とした「環境美化の日」に約82,000人の県民の方々への参加をいただき、県下一斉清掃を実施いたしました。

寒い日にもかかわらず、多数の皆様の熱心な活動に心から御礼申し上げます。

実施状況は、次のとおりです。

実施機関名	実施日	参加数 (人)	ごみ等の量 (kg)
県(7地域)		927	3,335
大津市	11/27～12/11	4,448	12,680
彦根市	11/20～12/4	3,016	62,400
長浜市	10/9～12/4	3,040	13,297
近江八幡市	10/31～12/26	7,772	41,200
草津市	11/27,12/4	10,007	6,092
守山市	11/27～12/11	18,024	111,030
栗東市	11/20～12/4	4,023	48,430
甲賀市	10/31～12/4	5,102	9,352
野洲市	11/27,12/4	11,310	203,895
湖南市	11/20～12/4	7,500	34,600
高島市	11/20～12/4	3,000	3,300
東近江市	11/20～12/4	5,100	170
米原市	12月4日	5,012	
日野町	11/21～12/11	237	300
竜王町	12/3,12/4	2,884	14,360
愛荘町	11/20～12/4	2,248	9,100
豊郷町	11/13～12/11	838	
甲良町	11/20～12/4	500	
多賀町	12/2	50	55
合計		95,038	573,595

※ ごみの量の空白は自治会等の実施のため把握ができなかったものです。

発行：滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

☎077-528-3471 FAX 077-528-4845

eメール df00@pref.shiga.lg.jp

平成 24 年 (2012 年) 2 月 16 日発行

淡海エコフオスター通信

～美しいまちづくりを目指して～

滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課

エコフオスター紹介〈高島管内〉 高島 鋳 建 株 式 会 社

活動場所 県道藺生日置前線
(運動公園バス停～梅原口バス停)

高島鋳建株式会社では、今津運動公園管理事務所～国道 303 号線梅原口の区間を往路・復路の二手に分かれて環境美化活動をされています。



取材当日は参加人数が 5 名と少なかったため、ごみの見落としがないようにと皆さんで往復 3km の活動となりました。



通行する車は他府県ナンバーのものが多いそうです。ごみは、弁当殻やペットボトル、缶、ビンなどの飲食物起因のものが多く、特に 7、8 月は増えると話されていました。一方で、全体的なごみの量は減ってきていると感じておられるそうです。

活動において、防護ネットが貼ってある場所の法面はごみが取れないことや、地面が雑草に覆わ

れている時期が大変であることなど苦勞を感じておられるようです。

また、地域柄、暑い時期も寒い時期も長く、環境美化活動をするのに条件の良い時期は少ないことも苦勞のひとつだそうです。長期間活動を続けてくださっているのも、ぜひ今後も活動の中で気付いたことなど教えていただきたいと思えます。

(高島環境・総合事務所環境課)

エコフオスター紹介〈南部管内〉 草 津 塾

活動場所 一級河川葉山川
(JR琵琶湖線下～琵琶湖)

草津塾さんが活動を始められたのは平成 12 年 4 月で、エコフオスター制度ができて間もないころから取り組んでおられます。毎月第 1 日曜日の朝 7 時(冬場は 8 時)に 10 名程度で清掃活動を実施されています。

活動場所は葉山川の広い範囲を登録されており、また、川原への投棄ごみも多いことから、この日も 2 時間近くかけて清掃されていました。



葉山川で活動する姿を地元の方も見ておられることもあり、従来多かった農業関係のごみや土手で野焼きはなくなってきているそうですが、プラスチック袋、レジ袋、飲料缶、ペットボトルなどの一般ごみの量はあまり変わっておらず、今日も軽トラック一杯分、大袋 20 袋近くのごみを回収されました。

以前に比べると大型ごみの投棄はかなり少なくなったものの、1 年くらい前から川原橋と沢口橋付近の川原への投棄ごみがひどくなり、この 2 カ所のごみで全体の 1/3 程度を占めているとのことで、行政の協力も得ながらこの対応を進めていきたいとのこと。

足下の悪い中での作業や拾ったごみの分別など大変苦勞が多い中、地域をきれいにしたいという強い

思いから、熱心な活動を続けていただいています。



※草津塾さんは、子どもたちが自然や環境について学ぶことのお手伝いや、地域の人々のパートナーシップによるまちづくりに取り組んでおられる市民活動グループです。HPもつくられていますので、ご覧下さい。

(南部環境・総合事務所環境課)

平成23年度環境美化の日とりまとめ

平成23年度環境美化の日の最終集計です。

・ ぐみゼロ大作戦	
参加者	33, 183人
回収したぐみ	98トン
・ びわ湖の日	
参加者	133, 595人
回収したぐみ	633トン
・ 県下一斉清掃運動	
参加者	95, 038人
回収したぐみ	574トン
合 計	
参加者	261, 816人
回収したぐみ	1, 305トン



毎年平均25万人が参加する「環境美化の日」は、滋賀県民に定着し、県民の環境意識の高さを表す、環境の代表的な環境保全活動です。

滋賀県では、今後も、この活動を通じ、びわ湖を守っていく大切さを引き継いでいきます。

淡海エコフオスター制度の合意書更新について

淡海エコフオスター制度は、県知事と住民団体・企業の代表者とが環境美化活動を行うことに合意し、2年ごとに合意書の更新を行っています。

現在のエコフオスター登録団体・企業は、494団体・企業で、そのうち208団体・企業が3月31日までの合意期間となっており、県から更新のお願いをしています。

まだ更新手続きを行っておられない団体・企業がありましたら、下記連絡先までご連絡をお願いします。

新たにエコフオスター制度に登録いただいた団体を紹介します。

平成23年9月以降の合意団体

- ・ 有限会社奥田組 (大津市)
国道477号 (大津市真野大野地先)
- ・ 東洋ヘッジ株式会社 (草津市)
県道草津守山線 (草津市駒井沢町地先)
- ・ 新中河川美化プロジェクト (近江八幡市)
一級河川藤間川 (近江八幡市中小森町地先)
- ・ 中森建業 (長浜市)
県道251号線 (長浜市八幡中山町地先)
- ・ アークス株式会社 (米原市)
県道山東一色線 (米原市堂谷地先)
- ・ 株式会社滋賀ポンプ (長浜市)
県道山東一色線 (米原市地先堂谷地先)



発行：滋賀県琵琶湖環境部循環社会推進課
☎077-528-3471 FAX 077-528-4845
eメール df00@pref.shiga.lg.jp